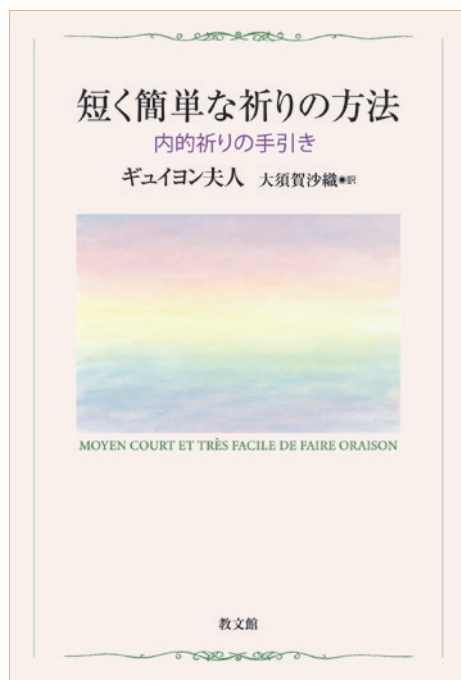


短く簡単な祈りの方法

内的祈りの手引き

MOYEN COURT ET TRÈS FACILE DE FAIRE ORAISON

ギュイヨン夫人 著 大須賀沙織 訳



キエティスム（静寂主義）の主唱者が説く「完徳へと至る道」

「私たちはみな祈りに招かれています」——オノレ・ド・バルザックにも多大な影響を与えた、17世紀フランスの神秘思想家による信心書。内省と黙想によって聖書の秘められた意味を読み取り、心の奥に神を探すことで、誰もが容易に魂の完成に至ることができる、と説く。新たな霊性を求める人々に贈る、心と生き方を変える“沈黙”の祈りのすすめ。

《著者紹介》ギュイヨン夫人 (Jeanne-Marie Bouvier de La Motte Guyon, 1648-1717) … フランス・モンタルジ生まれ。30代半ばで執筆を始め、近隣諸国で著作が次々と翻訳されるが、本国では異端の嫌疑をかけられて長年獄中生活を送る。19世紀バルザックが自著『セラフィタ』に彼女の神秘思想を結実させたほか、現代でも献身的な生涯と霊性思想が再評価されている。著書に『イエスの幼年期信心会の規則』『雅歌註解』『靈的小論集』『弁明書』『自叙伝』など。邦訳に村田真弓訳「奔流」(『キリスト教神秘主義著作集第15巻』(教文館)所収)。

《訳者紹介》大須賀沙織 (おおすが・さおり) … 福島県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科フランス文学専攻修士課程修了、パリ第4(ソルボンヌ)大学博士課程修了、博士(文学)。現在、東京都立大学人文社会学部フランス語圏文化論教室准教授。訳書にオノレ・ド・バルザック『神秘の書』(共訳、水声社)。